

第 12 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 6 年 11 月 18 日 (月曜)		午後 1 時 30 分 開会			
	休 憩	13:53-54	14:08-09	14:51-15:00	15:29-30	16:01-02
	午後 4 時 17 分 閉会					
	休憩時間 : 0 時間 13 分		会議時間 : 2 時間 34 分			
会 議 場 所	3 階委員会室					
出 席 委 員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	立川 美穂		
	副委員長	中田智恵子	委 員	堀切 忠		
	委 員	鈴木 健充	委 員	小笠原 等		
	委 員	早苗 豊	委 員	伊藤 稔	議 長 梶澤 幸治	
説 明 員	公立芽室病院事務長	石田 哲	同発達支援センター長	有本 和晃		
	事務長補佐	篠田 潤一	同保育所長	河原崎由香里		
	総務係長	佐藤 文彦	教育推進課長	坂口 勝己		
	経営企画係長	杉本 康次	同課長補佐	清末 有二		
	住民税務課長	松田 奈巳	同教育総務係長	金須 智秋		
	住民窓口係長	齋藤 錦	同教育推進係長	林 宏明		
	子育て支援課長	佐々木雅之	生涯学習課長	江崎 健一		
	同課長補佐	山田 陽子	同スポーツ振興係長	梅森 祐之		
	同子育て支援センター長	阿部 弘美				
参 考 人						
欠 席 委 員 氏 名						
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀				
『会議に付した事件と会議結果など』						
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。						
2 議 件 (1) 調査事項 ア 公立芽室病院における令和 6 年度上半期決算状況について 資料 1						
<ul style="list-style-type: none"> ・事務長：概要説明（今年度予算目標未達の見込み）。資料は担当係長及び事務長補佐から説明する。 ・総務係長：「上半期決算状況」説明。 ・事務長補佐：「診療科別前年対比（入院・外来）」説明。 ・委員長：意見・質疑はないか？ ・立川委員：これまでのコロナ交付金等の収入がなくなり、それを補う意味も含めて、改革プランの実行により経営安定化を目指す状況と捉えたが、現時点で効果を実感 						

する改革関連事業は何か？

- ・事務長：一例としては訪問看護事業などが挙げられる。なお、病院まつりなどによる啓発事業も間接効果に寄与することから継続して取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 公立芽室病院における職員数について 資料 2-1.2-2

- ・事務長：「資料 2-1」説明
- ・経営企画係長：「資料 2-2」説明
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ コンビニ交付サービスの実施について 資料 3

- ・住民税務課長：概要説明
- ・住民窓口係長：資料説明（「手数料設定」「利用率設定」「住民周知」「スケジュール」「施行日」）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：コンビニ交付可能は特定事業者か？
- ・住民窓口係長：町内のコンビニすべてである。なお、町外の事業者（イオン・ファミリーマート等）でも可となる。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ 印鑑登録証明書の交付について 資料 4

- ・住民税務課長：概要説明。
- ・住民窓口係長：資料説明（「交付申請」「スケジュール」「施行日」）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・早苗委員：今回の説明内容については、12月定例会議での条例改正の提案を想定しているようだが、自動交付機の廃止について、再度、条例改正の提案となるのか？
- ・住民税務課長：自動交付機の廃止について、改めて条例改正を要することになる。
- ・早苗委員：1度の条例改正で完結できる手法はないのか？
- ・住民税務課長：自動交付機の廃止に伴う関連予算の提案もあることから、2度に分けた議会提案にしようとするものである。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

オ 第3期芽室町子ども・子育て支援事業計画（案）について 資料 5-1.5-2

- ・ 子育て支援課長：課長補佐から資料説明する。
- ・ 課長補佐：「資料 5-1（計画策定の背景・計画の概要）」及び「資料 5-2（素案）」説明
- ・ 委員長：意見・質疑はないか？
- ・ 立川委員：子どもの貧困対策について、新たに項目立てた検討過程は？
- ・ 子育て支援課長：国の「子ども大綱」に基づき、今回、項目立てたものである。
- ・ 立川委員：この項目について、芽室町の独自性があまり感じられないが、他の自治体では、子どもたちへのアンケートなどを実施して策定に反映させている例がある。本町ではいかがか？
- ・ 子育て支援課長：ヤングケアラーに関する件についてはアンケート実施したが、この項目については実施していない。
- ・ 立川委員：ヤングケアラーのアンケート成果は？
- ・ 子育て支援課長：子どもたちにとって、過剰な日常介護等となっていないかどうかを把握することができた。深堀はできていないが、緊急性があったり致命的な事象はなかったことを把握できたことは一定の成果と捉えている。
- ・ 堀切委員：「こども誰でも通園制度（以下「こども誰でも」という。）」と「一時預かり事業（以下「一時預かり」という。）」との関係は？
- ・ 課長補佐：「こども誰でも」は長期事業。「一時預かり」は短期事業。
- ・ 堀切委員：国の説明では、「こども誰でも」は子ども支援の視点。「一時預かり」は保護者支援の視点としている。「こども誰でも」は短時間限定だが、十分な支援と言えるのか？
- ・ 課長補佐：他自治体の例を確認する限り大きな支障ないものと捉えている。
- ・ 堀切委員：当該事業の利用者が多くなり、保育士の確保や配置が追い付かない状況はないのか？
- ・ 子育て支援課長：ケースごとに試行しながら、課題と対策を整理していきたい。
- ・ 堀切委員：法的に必須事業なのか？
- ・ 子育て支援課長：令和8年度から実施すべき事業と認識している。
- ・ 堀切委員：保育士アンケートでは、現場での新たな負担等を訴える声が上位に位置付けられていたことから、必須項目でないのなら慎重に対応できないものか？
- ・ 子育て支援課長：実際には「かしわ保育園」をモデル施設として、町と情報共有しながら取り組んでいるところである。
- ・ （意見・質疑なし）
- ・ 委員長：以上で調査事項「オ」を終了する。

カ 部活動の地域移行の現状について 資料 6-1～6-4

- ・ 生涯学習課長：資料説明（「全国」と「町内」の実態と比較）。
- ・ 委員長：「資料 6-1」～「6-3」について、意見・質疑はないか？
- ・ 立川委員：練習場所への移動について、課題をどう捉えているのか？
- ・ 生涯学習課長：市街地と上美生間の移動については、生徒の力だけでは不可能なため、保護者等の理解と負担が必須と捉えている。

- ・立川委員：町として移動支援の想定はあるのか？
- ・生涯学習課長：検討課題ではあるが、現実的に町が支援できる範囲は限りがあるため、慎重に取り組んでいきたい。
- ・委員長：「資料6-4」について、意見・質疑はないか？
- ・立川委員：地域におけるスポーツクラブの設立について、地域おこし協力隊の活躍は期待できないか？
- ・生涯学習課長：地域おこし協力隊による起業については、単独で経費面の採算を合わす見通しはかなり厳しいと考えている。しかしながら、人財（地域おこし協力隊）と手法（事業体）の組み合わせを複数検討しながら、新たな形に向けて調査研究を進めていきたい。
- ・早苗委員：国が示す改革の理念として「地域移行」ではなく「地域展開」という表現があるが、本町における理念にも影響はあるのか？
- ・生涯学習課長：今後に向けては、「地域展開」という表現の方が、新たな取組として理解は進むものとする。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「カ」を終了する。

キ 児童生徒支援事業について 資料7

- ・教育推進課長：概要説明。資料は課長補佐から説明する。
- ・課長補佐：資料説明（「事業概要」「学校施設の整備」「学校支援員配置」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：学校施設費の概算整備費は？
- ・課長補佐：全体で約600～700万円。
- ・立川委員：対象児の進級に伴い、今後も追加整備の見通しもあるのか？
- ・教育推進課長：具体的な対応は、その都度、保護者・学校・町とで協議・連携しながら良好な環境を整えていきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「キ」を終了する。

ク 次期芽室町立小中学校配置計画に係る取組状況等について 資料8-1～8-4

- ・教育推進課長：概要説明。資料は担当係長から説明する。
- ・教育総務係長：「資料8-1」～「8-4」説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中田委員：前回実施のアンケートに係る回答率は？
- ・教育推進課長：46%。
- ・中田委員：令和7年度実施に向けての工夫は？より多くの方の意見を反映すべきと考えるがいかがか？
- ・教育推進課長：住民の皆さんにとって、関心が高まるような手法を創意工夫していき

たい。

- ・早苗委員：これまでの配置計画と今後の見通しを比較すると、時代が大きく変わり、次期計画策定に向けては、これまでの考えを新たにすべき要素もあると考えるが、計画の趣旨や期間はあくまでも従来を踏襲するのか？
- ・教育推進課長：継続性も重視しながら、時代の変化に適用できるような計画を策定していきたい。
- ・早苗委員：例えば、特認校を南小にも適用させるなど、地域協議を進める考えはあるのか？
- ・教育推進課長：地域の意向を尊重して計画に反映させていきたい。
- ・立川委員：計画的に行っている学校施設の整備（修繕・工事等）と「配置計画」との整合性はどうか？
- ・教育推進課長：「配置計画」に逆行しないように、今後は特に、双方の関係の整合性を図りながら効果的な整備に努めていきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ク」を終了する。

ケ どんぐり会との意見交換会について 資料9

- ・委員長：副委員長から資料説明を求める。
 - ・中田副委員長：資料説明（「意見交換会結果」）
 - ・委員長：意見・質疑はないか？
 - ・立川委員：今回の意見交換の結果（まとめ）について、議員間討議は必要ないか？
 - ・早苗委員：議員間討議の趣旨や必要性は理解する。しかしながら、意見交換会で出された課題について、委員間でその解決策をどのように導いていくかは大変苦慮するものとする。そのため、今回のように、意見交換会で出された意見や課題を踏まえて、正副委員長が町の担当課に出向き、その解決策に向けて実態を調査し整理したことは大きな成果と考える。この結果について、議員間討議をする意味合いはあると捉えるが、その取扱いは正副委員長に委ねたい。
 - ・立川委員：住民との意見交換会による意見の取扱いについて、先方にきちんとフィードバックすることが最も丁寧で重要な議会（委員会）の行動と考える。その手法については、正副委員長に委ねたい。
 - ・委員長：他にないか？
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・委員長：以上で、調査事項「ケ」の調査を終了する。
-
- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」～「ケ」について、自由討議はないか？
 - ・立川委員：調査事項「キ：次期芽室町立小中学校配置計画に係る取組状況等」については、当委員会の抽出事業に関わりの深い事項であるため、今年度中に一定のまと

めができるよう整理すべきと考える。

- ・委員長：継続調査することに異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：継続検討する事項とする。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副一任

(2) その他

- ・委員長：委員各位からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	1名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和6年11月18日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏